

びわ博フェス 2025 を開催します

11月15日(土)・16日(日)に、様々な分野で活動する個人、団体、企業、大学などとともに、出会って楽しく学びあえる場として、びわ博フェス 2025 を開催します。

概要

- ・常設展示の無料開放を実施（関西文化の日）
- ・琵琶湖博物館と関わりのある計 50 団体が参加
- ・地域で活動する団体・企業・大学が、楽しく学べるワークショップを開催
- ・展示交流、ポスター展示、ステージ発表などを通じて、参加団体の活動について知ることができます
- ・11月16日（日）には、小中高生が自分の研究を発表する「びわ博子ども若者研究発表交流会」を開催

詳細

様々な分野で活動する個人・団体等が一堂に会し、それぞれの活動で得た経験や知見を分かち合う成果発表を行い、来館者と出会い、学びあえる相互交流の場として、「びわ博フェス 2025」を開催いたします。

琵琶湖博物館のフィールドレポーターやはしかけグループ計 19 団体の他、地域の研究会や、環境活動に取り組む NPO 法人や企業、行政、大学等計 31 団体が参加し、それぞれが取り組む活動の一端を紹介します。実際に活動に取り組む皆様に、直接出会って交流できる機会です。

今年度の新たな取り組みとして、11月16日（日）10：00～12：30 に「びわ博子ども若者研究発表交流会」を開催します。小学生から高校生までの 9 組が、取り組んできた研究の成果を発表し、他の学生や研究者等と交流を深めます。詳細は添付の画像をご確認ください。

みなさまのご来館・ご参加をお待ちしております。

日時： 2025 年 11 月 15 日（土）・16 日（日）

いずれも 9 時 30 分～17 時 00 分（最終入館 16 時）

会場： 滋賀県立琵琶湖博物館

参加費： 無料

※2 日とも「関西文化の日」であるため、常設展示観覧料は必要ありません。

※企画展示「川を描く、川をつくるー古地図で昔の堤をさぐるー」を観覧する場合は、企画展示観覧料が必要です。

参加申込： 不要

※定員制のワークショップについては、各会場で当日整理券を配布します。

整理券の配布は先着順です。

プログラム： 詳細はチラシまたは下記 URL の琵琶湖博物館ウェブページをご参照ください。
<https://www.biwahaku.jp/festival/2025.html>

★プログラムの時間帯、会場、定員などは変更になる場合がございます。琵琶湖博物館 web サイトで最新の情報をご確認のうえ、ご来館ください。

観衆・工作・クイズなど...
どれに挑戦する?
ワークショップ

活動に取り組んでいる人たちと、
出会って直接話してみよう!
展示交流

どんな活動に取り組んでいるのか、
話を聞いてみよう!
ステージ発表

自然や暮らしに関する
様々な活動をポスターで紹介!
ポスター展示

びわ湖博物館フェス

11.15 & 16
9:30 ~ 17:00
※最終入館 16:00

普段はそれぞれのフィールドで活動する個人・団体、企業や大学などが琵琶湖博物館に大集合。どんな活動をしているのかな? どんな未来を目指しているのかな? 出会って交流しながら互いに学べる、子どももおとなも楽しめるイベントです。

関西文化の日
入場無料
※企画展示のみ別途観覧料が必要

滋賀県立
琵琶湖博物館
LACCI BIWA MUSEUM

Illustration by Moto Hatashita



PROGRAM

詳細や最新情報は
Webサイトで随時更新!



ワークショップ

※当日受付です。定員がある場合は、先着順となります。

AM=10:00-12:00 / PM=13:00-15:00

11月15日(土)

- お魚クリアファイルをつくる AM
- 間伐材によるコースターづくり AM
- 琵琶湖周辺の身近な生き物の世界をのぞいてみよう AM
- お魚キーホルダーをつくる AM
- 土の中から虫を探そう! AM
- オリジナル「トンボフィギア」を作ろう PM
- びわ博のいきものアート工房 PM
- 琵琶湖のスラングトン(微小生物)観察会 PM
- 里山の木で楽しもう PM
- ヨシの魅力や大切さを楽しむワークショップ AM PM
- ちこあそびわ博フェス拡大版 AM PM



11月16日(日)

- 再生プラスチックのベレットで傘チャームを作ろう! AM
- 琵琶湖周辺の身近な生き物の世界をのぞいてみよう AM
- 紙テープを魚の形に編み込もう AM
- 潮流に関わる科学実験 AM
- ドライアイスであそぼう!ソーラーカーをつくってみよう! PM
- 野鳥グイズに挑戦してバードウォッチング名人をめざそう PM
- 樹皮で小さいカゴを作ろう PM
- びわ博の森グイズラリー PM
- めざせエコ名人!キッズ免許証ゲットイベント AM PM
- 自然と暮らす～ヨシをつかったものづくり体験 AM PM
- 動物とのふれあい教室 AM PM
- ナカニワ湖 AM PM



展示交流

AM=10:30-12:00 / PM=14:00-15:30

15日(土)

- 田んぼがなくなると生きもの AM
- 一湖と人が織りなすものがたりー琵琶湖システム AM
- もっと知りたい滋賀の食文化 PM
- 採集した化石などのふれあい AM PM
- ヨシと暮らしの展示 AM PM
- 琵琶湖とその周辺の小さな生き物を観察しよう AM PM



16日(日)

- 田んぼがなくなると生きもの AM
- 一湖と人が織りなすものがたりー琵琶湖システム AM
- 滋賀県の野鳥の生態と傷病鳥救護について PM
- 骨格標本の制作過程の実演 PM
- 琵琶湖とその周辺の小さな生き物を観察しよう AM PM
- 守山のまちなかに飛ぶゲンジボタル AM PM
- 採集した化石などのふれあい AM PM

ステージ発表

15日(土)

- 15:15～ 琵琶湖で育まれた「よし笛」の更なる発展
- 15:25～ 琵琶湖博物館 環境学習センターの紹介
- 15:30～ 滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ
- 15:40～ 生物多様性びわ湖ネットワークの取り組みについて
- 15:50～ 琵琶湖博物館 はしかけ、フィールドレポーターに参加しよう
- 16:00～ 「非常災害用井戸」について
- 16:10～ 四半世紀、滋賀県で魚を採りつづけたら、いろいろ分かってきた!
- 16:20～ 博物館の森では、幼児期からの学びがいっぱい
- 16:30～ フィールドレポーター「水辺の魅力調査」の紹介



16日(日)

- 15:10～ 琵琶湖博物館 環境学習センターの紹介
- 15:15～ しげるくんエコ大使の活動について
- 15:25～ びわこまるごとプロジェクト 発表してきました
- 15:35～ 京都大学大学院工学研究科附属 流域総合環境質研究センターでの取り組み
- 15:45～ 日本野鳥の会滋賀 活動紹介
- 15:55～ 琵琶湖博物館 はしかけ、フィールドレポーターに参加しよう
- 16:00～ 「非常災害用井戸」について
- 16:10～ はしかけ「大津の岩石調査隊」活動紹介
- 16:20～ はしかけ「近江はたおり探検隊」活動紹介
- 16:30～ フィールドレポーター「水辺の魅力調査」の紹介



出展団体一覧 (*印はポスター展覧あり)

琵琶湖博物館フィールドレポーター*、琵琶湖博物館はしかけ「うおの会*」、「近江はたおり探検隊*」、「大津の岩石調査隊*」、「追放写新*」、「暮らしをつづる会*」、「古琵琶湖発掘調査隊*」、「里山の会*」、「サロンド湖流」、「植物観察の会*」、「たんさいばうの会*」、「田んぼの生きもの調査グループ*」、「ちっちゃなこどもの自然あそび ちこあそび*」、「琵琶湖の小さな生き物を観察する会*」、「びわたん*」、「ほねねくらぶ*」、「水と暮らし研究会*」、「虫探し*」、「森人*」、認可地縁団体豊前自治会*、NPO法人風と土の交響、京都大学生態学研究所、京都大学大学院工学研究科附属流域総合環境質研究センター*、(公財)国際湖沼環境委員会*、湖国もぐらの会*、Common sense、(株)シーエス・ユアサバッテリー*、(公社)滋賀県獣医師会、滋賀県農政水産部農村振興課、滋賀の食文化研究会、(株)SCREENホールディングス、生物多様性びわ湖ネットワーク*、高槻市立自然博物館(あくあびあび)川*、TANAWA湖こども環境クラブ*、トヨタ自動車滋賀(株)、日東電工(株)滋賀事業所、日本野鳥の会滋賀*、針江生水の郷委員会*、(株)レノック、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会、放鳥いず、ネタルの学校*、はてじゃこトラスト*、NPO法人まるよし*、愛(マナ)ミュージック・アカデミー、(株)村田製作所*、野洲市歴史民俗博物館(訓練博物館)*、山越草(株)、ルシオールキッズクラブ*、(株)レノック*



滋賀県立
琵琶湖博物館

〒525-0001
滋賀県草津市下物町1091
TEL. 077-568-4811

□バスでは、JR草津駅西口から近江鉄道バス「琵琶湖博物館」行きで「琵琶湖博物館」下車、約25分。
□タクシーでは、JR草津駅、守山駅、聖由緒から約20分。
□お車では、名神高速道路(東東1)から約30分。

琵琶湖博物館Webサイト
www.biawahaku.jp



びわ博子ども若者研究発表交流会

日程：2025 年 11 月 16 日（日） 場所：琵琶湖博物館ホール

9:50 趣旨説明・注意事項

10:00 (1)伊吹山 9 合目から山頂におけるカタツムリの生息状況

10:15 (2)ビワヒガイが集まるナゾの丸い砂底を調べる

10:30 (3)イチモンジタナゴと貝の実験

10:45 (4)川魚の学習能力を探る ～視覚編～

【休憩】

11:15 (5)ナナフシとアリ 両者の関係は？

11:30 (6)都市に暮らす鳥の鳴き声

11:45 (7)琵琶湖の水鳥の渡りと気象条件

12:00 (8)ミジンコの甲殻表面における模様の種によっての違い

12:15 (9)プランクトンの世界をのぞいてみよう PART4 ～アオコの浄化をめざして～

閉会あいさつ



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM